

一般質問

12名通告順

歴史・文化財活用を考える

高杉 徹議員

○歴史文化財を生かした街づくり及び観光PRについて
質問 ①ふるさと歴史再発見

観光ブームの中、市の歴史文化財である坂野家・弘経寺・長塚節の生家等を生かした街づくり政策を示せ。
②長塚節の生家へ訪れる方のため、主要幹線道路や駅に観光案内板を設置することを提案する。

答弁(産業労働部長) ①豊かな自然を生かしたウォーキングイベントを活用し、観光協会を中心として歴史的文化財を含めたコースを充実させていくとともに、観光会社に日帰りバスツアーの企画を依頼し、相当数のお客様にお越しいただいた。今後も、積極的な誘致活動を考えている。②現在、五基の案内看板があるが数が足りないとともに目立たないのが現状である。幹線道路の整備も進んでいることから、道路管理者と協議し新たな設置を検討していく。

答弁(教育部長) ②長塚節生家の来客者は広く関東各地から訪れている。市では観光案内人を配置し、建物の修復を含めた保存整備に努めている。長塚節文学賞は全国から応募がある盛況振りとなっている。これらを広くPRするため周辺の案内板はもちろん、表示も工夫していきたいと考える。



長塚節の生家

さらに、駅構内への観光パンプの配置も考えている。
(再質問) 長塚節生家への観光案内板は市外も含めてぜひ、大きなものを幹線道路につくり常総市に来る人を増やすことを要望する。
〈その他の質問事項〉
○緊急雇用対策事業と常総元

気が熱の雇用問題について

高齢者問題を考える

石川 栄子議員

○高齢者を大切にする施策について

質問 ①年金から引き落としされる介護保険料は今でも

高く大変なのにさらに値上げはあるのか。保険料・利用料の減免拡充の考えは、
②介護保険制度改定で軽度の

方が利用できなくなると聞く。代替施策は。

③高齢者の方が肺炎になると重篤な状況になり死亡率も高くなる。ぜひ、肺炎球菌ワクチンの補助を求めます。

④地デジ完全移行に伴い、テレビを見る楽しみを奪わないために高齢者世帯や一人暮らし世帯への対応をどう考えるか。

⑤乗り合い交通だけでは不便なことが多いので、週1本でも福祉バスの復活は。福祉タクシースも80歳以上への復活を求めます。

答弁(保健福祉部長)

①基金の枯渇・高齢者の増・新たな施設整備による給付費の伸びを勘案し、保険料の増はやむをえないと考える。保険料減免については介護保険条例第17条において規定されている。利用料減免については市単独事業として助成を行っている。この制度は継続する考えで拡充は考えていない。

②国において検討中であり、現サービスが後退しない策を検討したい。

③公費負担制度を検討していきたい。

④補助金等の給付は考えてい

ない。

⑤福祉循環バスは廃止をしたので復活は予定していない。福祉タクシースは重度の障がい・特定疾患の方・65歳以上の寝たきりの方及び一人暮らしの高齢者で市外通院者のみの利用とした。予約型乗合交通の利用をお願いし、再開の予定はない。

(再質問)

①介護保険料値上げにつながる仕組みを、どう変えるべきと考えるか。④地デジ対策は、民生委員による個々の対応がよいと思う。⑤予約型乗合交通のみでは市民のニーズにそぐわない。さらに充実させるのか。福祉循環バスを出すのか。回数券の払戻しは可能か。



介護長寿課